

「職場におけるコミュニケーションの状況と苦情・不満の解決に関する調査」(企業調査・従業員調査)
(調査シリーズ No. 58) の Read me

調査シリーズ No. 58 「職場におけるコミュニケーションの状況と苦情・不満の解決に関する調査」のアーカイブデータには、企業、従業員の2ファイルがあります。本アーカイブデータについて、注意が必要な箇所を以下に示しました。

企業

1. 本アーカイブデータは、企業データと従業員データをマッピングできるようになっています。変数「number」が従業員データとのマッピングキー変数です。企業データには、従業員データとマッピングできない(従業員データがない)データがあります。
2. 無回答、非該当の扱いについて
本アーカイブデータでは、無回答と非該当を区別せず、両方をシステム欠損値としています。
3. 秘匿のためのカテゴリ化について
調査項目 F2「従業員数」の各回答については、秘匿のため以下のとおりカテゴリ化しています。報告書掲載の平均、実数合計は再現できません。
 - (1) 変数「f2_1_ca」
F2「従業員数」の回答を、「1～99人」「100～149人」「150～199人」「200～299人」「300～499人」「500～999人」「1000人以上」の7カテゴリとしています。
 - (2) 変数「f2_2_ca」
F2「従業員数のうち管理的な立場にある従業員数」の回答を、「0～9人」「10～19人」「20～29人」「30～39人」「40～49人」「50～99人」「100人以上」の7カテゴリとしています。
 - (3) 変数「f2_3_ca」
F2「正社員数」の回答を、「1～99人」「100～149人」「150～199人」「200～299人」「300～499人」「500～999人」「1000人以上」の7カテゴリとしています。
 - (4) 変数「f2_5_ca」
F2「正社員数(うち女性)」の回答と F2「正社員数」の回答の百分比を女性正社員比率として表し、「0%」「0%超～10%未満」「10～20%未満」「20～30%未満」「30～40%未満」「40～50%未満」「50～60%未満」「60～70%未満」「70～80%未満」「80～90%未満」「90～100%未満」「100%」の12カテゴリとしています。

「職場におけるコミュニケーションの状況と苦情・不満の解決に関する調査」（企業調査・従業員調査）
（調査シリーズ No. 58）の Read me

調査シリーズ No. 58 「職場におけるコミュニケーションの状況と苦情・不満の解決に関する調査」のアーカイブデータには、企業、従業員の2ファイルがあります。本アーカイブデータについて、注意が必要な箇所を以下に示しました。

従業員

1. 本アーカイブデータは、企業データと従業員データをマッチングできるようになっています。変数「number」が企業データとのマッチングキー変数です。従業員データには、企業データとマッチングできない（企業データがない）データがあります。
2. 無回答、非該当の扱いについて
本アーカイブデータでは、無回答と非該当を区別せず、両方をシステム欠損値としています。
3. 報告書集計表の誤植等について
(1) 問 9 職場・会社での従業員の苦情や不満を、把握・解決するための制度や仕組みの有効性
(10:その他) (変数名:「q9_10_c」)

報告書 71 ページに掲載されている問 9 の調査票兼単純集計表において、数値に誤りがあります。正しい数値は以下のとおりです（網掛け部分）。

	(ハ) 有効性				
	高い	やや高い	どちらとも言えない	やや低い	低い
10 その他	5.4	12.9	15.2	3.1	6.3 NA57.1

- (2) 問 18 苦情・不満の解決や苦情・不満の発生を未然に防ぐ取組みの必要性 (1:現在の必要性)
(変数名:「q18_1」)

報告書 76 ページに掲載されている問 18 の調査票兼単純集計表において、数値に誤りがあります。正しい数値は以下のとおりです（網掛け部分）。

	高い	やや高い	ふつう	やや低い	低い
	1 現在の必要性	23.4	27.3	35.7	6.1